

保証とアフターサービス

必ずお読みください

ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談ならびに、お取り扱い・お手入れに関するご不明な点は **お買い上げの販売店にご相談ください。**

販売店に修理のご相談ができない場合

東芝家電修理ご相談センター

フリーダイヤル 0120-1048-41

携帯電話・PHSからのご利用は
東日本地区（北海道、東北、関東、甲信越、東海、沖縄県）044-543-0220
西日本地区（上記以外）06-6440-4411

「東芝家電修理ご相談センター」「東芝家電ご相談センター」は東芝テクノネットワーク株式会社が運営しております。
・お客様からご提供いただいた個人情報は、修理やご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。
・利用目的の範囲内で、当該製品に関連する東芝グループ会社や協力会社にお客様の個人情報を提供することがあります。

お買い物、お取り扱いのご相談

東芝家電ご相談センター

フリーダイヤル 0120-1048-86

携帯電話・PHSからのご利用は 03-3426-1048
FAX 03-3425-2101（365日：8:00～20:00受付）

保証書（別添）

この東芝クリーナーには、保証書を別途添付しております。
保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
保証期間はお買い上げの日から1年間です。詳しくは保証書をご覧ください。

補修用性能部品の保有期間

クリーナーの補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後6年です。
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
クリーナーに使用している部品は、性能向上やサービス供給のため、一部予告なしに仕様や外観色が変わることがあります。

部品について

修理のために取りはずした部品は、特段のお申し出がない場合は弊社にて引き取らせていただきます。
修理の際、弊社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

修理を依頼されるときは 持込修理

18ページに従って調べていただき、なお異常があるときは、電源を切り使用を中止し、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店にご連絡ください。

保証期間中は.....	修理料金のしくみ.....
保証書の規定にしたがって、販売店が修理させていただきます。 なお、修理に際しましては、保証書をご提示ください。	修理料金は、技術料・部品代などで構成されています。
保証期間が過ぎているときは.....	技術料 故障した商品を正常に修復するための料金です。
保証期間経過後の修理については、お買い上げの販売店にご相談ください。修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。	部品代 修理に使用した部品代金です。

便利メモ	お買い上げ日	年	月	日
	お買い上げ店名	電話（	）	-

愛情点検

このような症状はありませんか。

スイッチを入れても、ときどき運転しないときがある。
電源コードを動かすと運転が止まるときがある。
こげくさい臭いがする。
その他の異常がある。

ご使用中 止

故障や事故防止のため、スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ずお買い上げの販売店に点検・修理をご相談ください。

東芝コンシューママーケティング株式会社

家電事業部

〒101-0021 東京都千代田区外神田2-2-15（東芝昌平坂ビル）

TOSHIBA

東芝クリーナー（家庭用） 取扱説明書

形名

VC-90XP



もくじ

安全上のご注意.....	2～3
お願い.....	3
各部のなまえとはたらき	4～7
収納のしかた	7
お掃除のしかた	8～9
付属品の使いかた	10～11
ゴミの捨てかた	12
お手入れ	13～17
このようなときは	18
保護装置について	19
抗菌の効果	19
仕様	19
保証とアフターサービス	20

このたびは東芝クリーナーをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。
この商品を安全に正しく使用していただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり、十分に理解してください。
お読みになったあとは、いつも手元においてご使用ください。
保証書を必ずお受け取りください。
包装に使用しているダンボールは、分別の上、リサイクルにご協力をお願いします。

お掃除の前に

お掃除のしかた






お掃除の後に















このようなときは

安全上のご注意



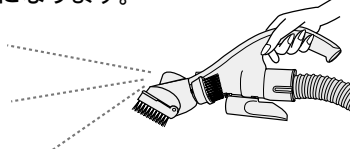
必ずお守りください

商品および取扱説明書にはお使いになるかたや他の人への危害と財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。次の内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

表示の説明	図記号の説明
 警告 「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷 ^{*1} を負うことが想定されること」を示します。	 禁止 ⊘は、禁止（してはいけないこと）を示します。具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
 注意 「取り扱いを誤った場合、使用者が傷害 ^{*2} を負うことが想定されるか、または物的損害 ^{*3} の発生が想定されること」を示します。	 指示 ●は、指示する行為の強制（必ずすること）を示します。具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
<small>*1：重傷とは、失明やけが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。 *2：傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが、やけど、感電などをさします。 *3：物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害をさします。</small>	 注意 △は、注意を示します。具体的な注意内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

 警告	
 分解禁止 改造はしない また、修理技術者以外の人は、分解したり修理をしない 火災・感電・けがの原因になります。修理はお買い上げの販売店または東芝家電修理ご相談センターにご相談ください。	 禁止 電源コードは黄マーク以上引き出さない 電源コードを傷つけたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしない また、重い物を載せたり、挟み込んだりしない 電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。
 禁止 電源コード、電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない 感電・ショート・発火の原因になります。	 プラグを抜く お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く また、ぬれた手で抜き差ししない 感電・けがの原因になります。
 100V・15A以上 電源は交流100Vで、定格15A以上のコンセントを単独で使う 火災・感電の原因になります。	 禁止 電源コードを床ブラシの回転部に巻き込まない 電源コードの損傷により、感電の原因になります。
 接触禁止 床ブラシ・ブラシの回転部、自動停止装置など底面や、本体の排気口付近には触れない 手など、けが・やけどの原因になります。特に小さなお子さまにご注意ください。	 水洗い禁止 本体・ホース・伸縮延長管・床ブラシ（回転部・お手入れカバー・シャッターをのぞく）・ピカッとどこでもブラシ（ブラシ毛部をのぞく）は絶対に水洗いしない 感電・故障の原因になります。
 禁止 灯油、ガソリン、シンナーなどの引火性のあるもの、タバコの吸い殻などの火の気のあるもの、トナーなどの可燃物を吸わせない 火災の原因になります。	 根元まで差し込む 電源プラグは根元まで確実に差し込む 感電・発熱による火災の原因になります。
 水場での使用禁止 水まわりや風呂場での使用は絶対にしない 感電の原因になります。	 ほこりをとる 電源プラグとコンセントのほこりなどは定期的にとる 感電・発熱による火災の原因になります。
 接触禁止 本体内部のギアには触れない 手など、けがの原因になります。特に小さなお子さまにご注意ください。	 禁止 ふたが開いているとき、ふたを持って本体を持ち上げない 本体の変形および、けがの原因になります。

⚠ 注意

 プラグを持つ 電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜く プラグの刃が変形したり、電源コードが断線して感電・ショート・過熱により発火の原因になります。	
 禁止 吸込口をふさいで長時間運転しない 過熱による本体の変形・発火の原因になります。	
 プラグを持つ 電源コードを巻き取るときは電源プラグを持って行う 電源プラグがあたってけがの原因になります。	
 プラグを抜く 使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜く けが・やけど・絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。	
 禁止 排気口をふさがない 火災の原因になります。	
 火気禁止 火気に近づけない 本体の変形によるショート・発火の原因になります。	
 まっすぐに引く 電源コードは、まっすぐ引き出す 電源コードを上につけながら引き出すと本体の引き出し部と電源コードがこすれて破損し、感電・発火の原因になります。	
 禁止 引火性のもの（ガソリン、ベンジン、シンナー）の近くで使用しない 爆発・火災の原因になります。	
 禁止 ホース差込口、ホース、伸縮延長管の接点にピンなどを入れない 感電・破壊の原因になります。	
 禁止 ライトを直接見たり人に向けたりしない 目を痛める原因になります。	

お願い

このクリーナーは家庭用です

業務用には使用しない。
掃除目的以外には使用しない。

つぎのものは吸わせない

水などの液体や湿ったゴミ。
ガラス、ピン、刃物など鋭利なもの。
多量の砂（ペット用砂、パウダー状の粉末など）、小石など目づまりするもの。
食品用ラップや包装用フィルムなどの通気性の悪いもの。
フィルターの目づまりや異臭の発生、本体の故障、ダストカップの傷つきの原因になります。

ホース、伸縮延長管の先端で直接お掃除しない

床が傷ついたり、故障の原因になります。

掃除するときは電源コードを十分に引き出す

電源コードを無理に引っ張ると、損傷する原因になります。

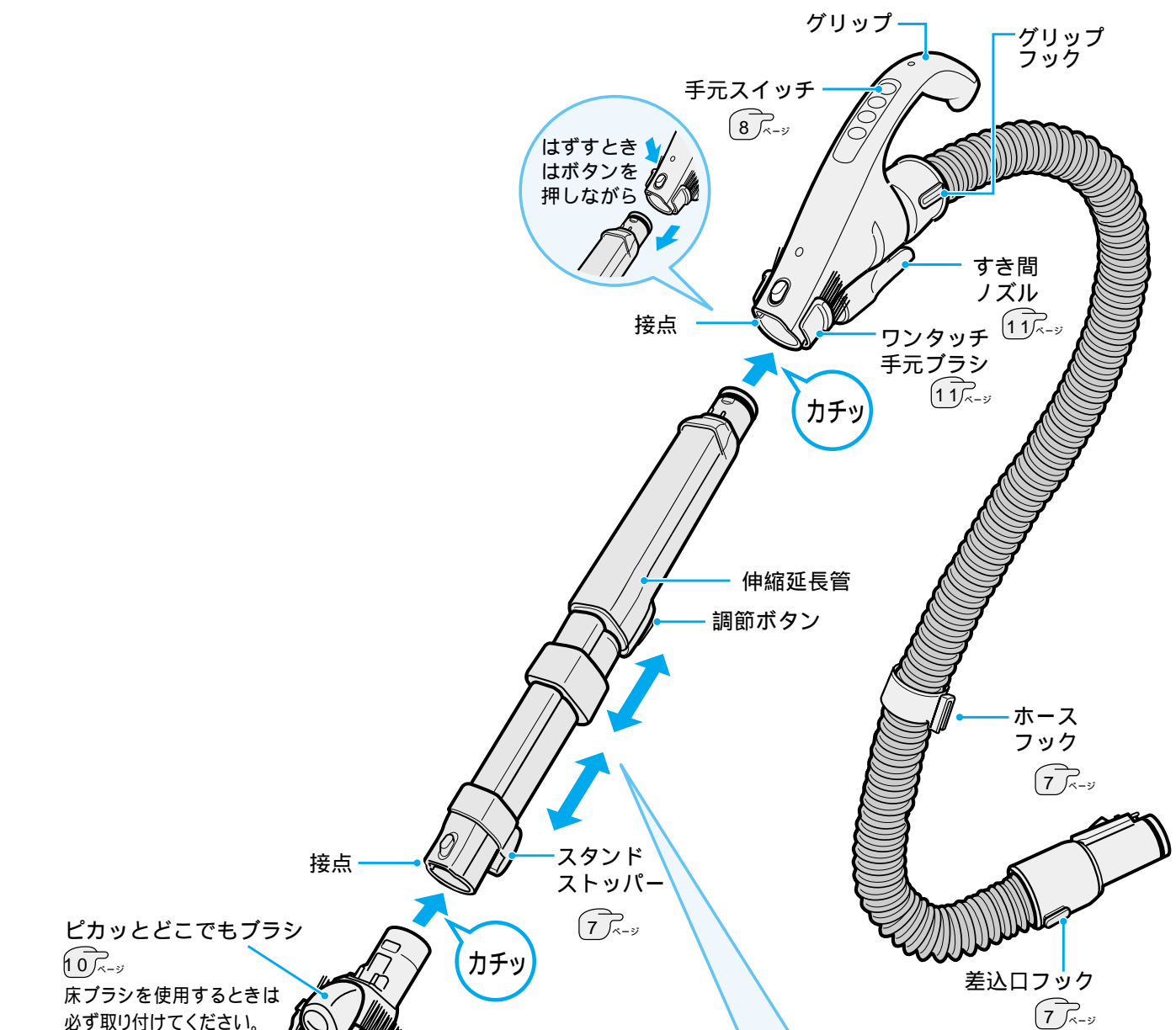
床ブラシ・ピカッとどこでもブラシ・ワンタッチ手元ブラシを床に強く押しつけたり、本体を急激に引っ張ったり、壁、家具などに強くあてない

床、たたみの傷つきや、壁、家具などへの色の付着防止のため、力を入れずに片手で軽くすべらせてください。伸縮延長管に手をそえると伸縮延長管・床ブラシに無理な力が加わることがあります。
床用ワックス・つや出し床用洗剤をご使用の場合、塗布面にこすり傷がつくことがあります。
やわらかく傷つきやすい木床材や、ワックス上のこすり傷が気になる場合は、別売品のソフトフロアブラシのご使用をお奨めします。
砂ゴミの上で床ブラシを使うと、床に傷をつけることがあります。床ブラシの下側の車輪・ブラシ起毛布に付着している砂ゴミは取りのぞいてください。
床ブラシの下側の車輪・ブラシ起毛布が摩耗していると床・たたみに傷をつけることがあります。お手入れの都度、点検してください。

本体を立てた状態やちょいとスタンド状態、また持ちはこんでいるときに、ふたクランプを押したり、ホースの手元スイッチにある、ライト / ブラシ 入 / 切 ボタンを長押しして、ふたを開けない

ふたで床を傷つけたり、延長管が倒れることがあります。また、ダストカップが落ちて、破損する原因になります。

各部のなまえとはたらき



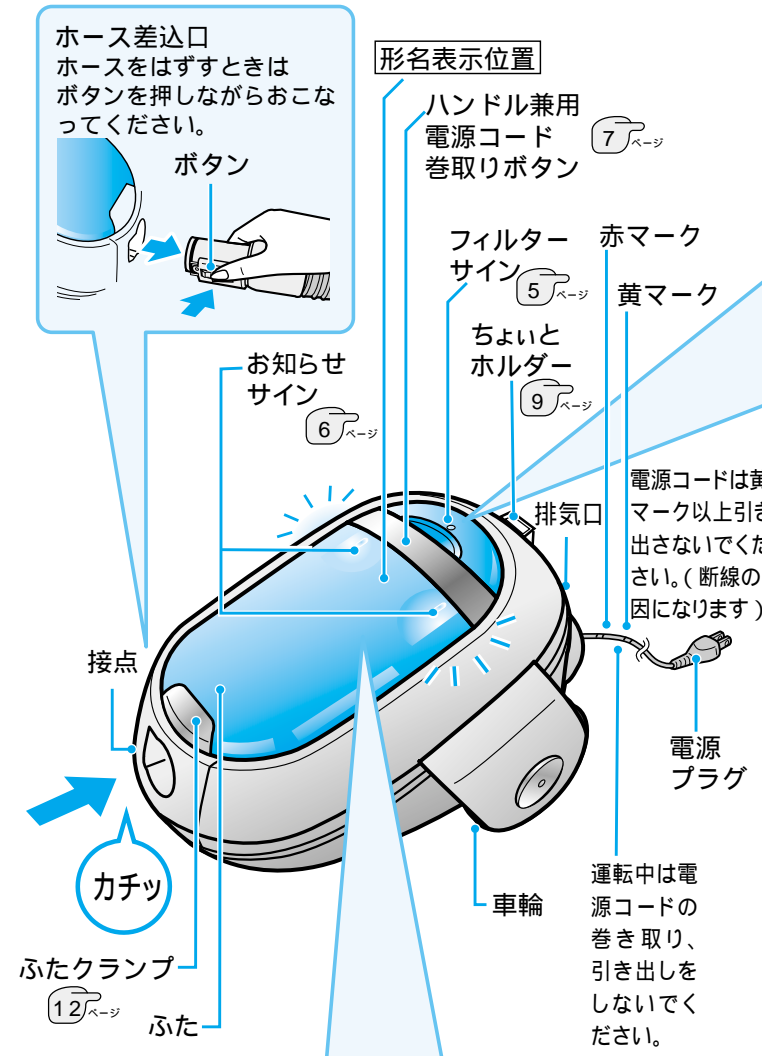
長さの調節のしかた

スタンドストッパーの部分を持って調節ボタンを押しながら、1段目と2段目の延長管を完全に伸ばしてロックをかけます。調節ボタンをはなしカチッと音がするとロックがかかります。

調節ボタンを押して、2段目の延長管の印が見える位置で、2段目の延長管の長さを調節してください。

2段目の延長管において、印が見えない位置では、1段目の延長管は伸ばしてもロックがかかりません。長さ調節できるのは、2段目の延長管のみです。長さ調節時や使用時に「シャカシャカ」と音がしますが、内部部品の振動音で故障ではありません。

お願い 運転中に吸込み口をふさいで、調節ボタンを押さないでください。急に縮んでけがをすることがあります。



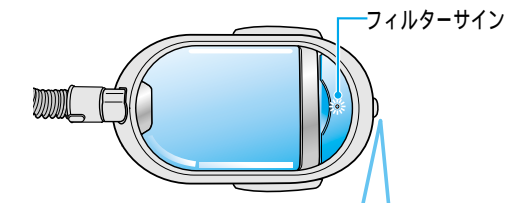
フィルターサイン

フィルターお手入れロボの目づまりを「フィルターサイン」が点滅でお知らせします。

フィルターサインの確認方法

(手元スイッチを「自動」または「強」にして確認してください)

フィルターサインの点滅を確認したい場合は、ホース先端を約10秒間密閉してください。このときにフィルターサインが点滅すれば正常に機能しています。



フィルターサインが赤く点滅したらフィルターお手入れロボを、お手入れしてください。

(14~15 ページ)

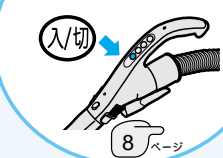
お願い

延長コードを使用したり、他の家電製品と同一のコンセントでお使いになると電源電圧の低下により、フィルターサインが早く点滅する場合があります。定格15A以上の単独コンセントで使用ください。

本体内部

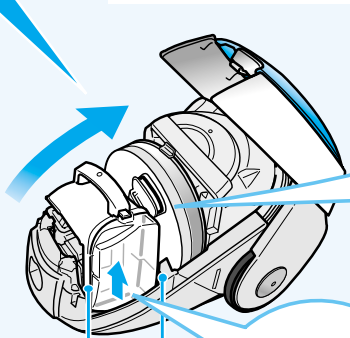


運転停止時にライト/ブラシ入/切ボタンを長押しすると電源プラグをコンセントに差しているときのみに有効です。



ふた自動OPEN機能

ふたが開きダストカップが自動で上がります。



必ず取り付けてください。正しく取り付けないと故障の原因となります。

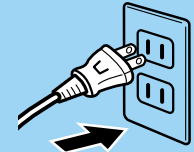
ゴミセンサー (Garbage Sensor)

各部のなまえとはたらき (つづき)

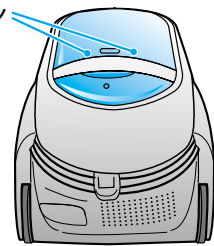
お知らせサイン

本体の状態を「お知らせサイン」と「アラーム音」でお知らせします。

電源プラグをコンセントに差し込みます。



お知らせサイン



セット完了

ピロリン
ピロリン

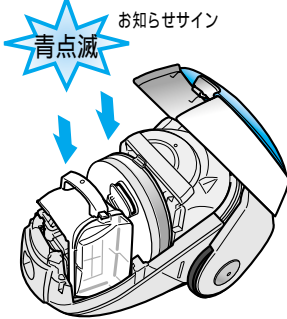


正常状態

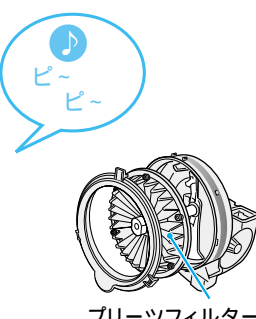
ダストカップ・ブリーツフィルターが正しくセットされていません。



ダストカップ



お知らせサイン
青点滅



ブリーツフィルター

ふたを開いて、ダストカップ・ブリーツフィルターを正しくセットしてください。(12) (15) ページ

ふたを開くとダストカップが自動で上がります。ふたを閉めるときはダストカップを取り出して、いなくてもカチッと音がするまで本体にはめ込んでください。

お掃除開始

手元スイッチを押す

ブリーツフィルターが約1秒回転します。

お知らせサイン

青点灯

お掃除を始めることができます。



お掃除終了

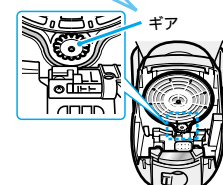
手元スイッチを切る

切

ギアにゴミが入り込んでいます。

ギアに入り込んだゴミを取りのぞいてください。必ず、電源プラグをコンセントから抜いてから、おこなってください。

お知らせサイン
青点滅



吸い込みが弱くなっています。



お知らせサイン
青点滅

ブリーツフィルターのお手入れをおこなってください。(14) (15) ページ

ホース・延長管・床ブラシにゴミがつまっていないか確認してください。

ダストカップにゴミがたまっています。



ゴミを捨ててください。(12) ページ

ふたが自動で開きますので、掃除機本体にふれないようにしてください。

ふた自動
OPEN機能

お知らせサイン
青点滅

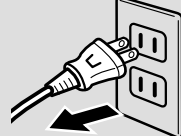
お知らせサイン

青点滅

アナウンス後、エアークリーンを開始します。

エアークリーン時、ブリーツフィルターの回転と同時にブリーツフィルターにエアを送るため、モーターも運転します。ブリーツフィルターの目づまり具合及びダストカップのゴミのたまり具合により、エアークリーンの時間が異なります。エアークリーンを止めたいときは、「切」を押すと止めることができます。

点滅が終了してから電源プラグをコンセントから抜きます。



収納のしかた

お掃除終了後はお知らせサインの点滅が終了してから電源プラグをコンセントから抜いてください。

電源プラグを持ち、ハンドル兼電源コード巻き取りボタンを押しながら電源コードを巻き取る。
巻き取れない場合は、電源コードを1~2m引き出してふたたび巻き取る。



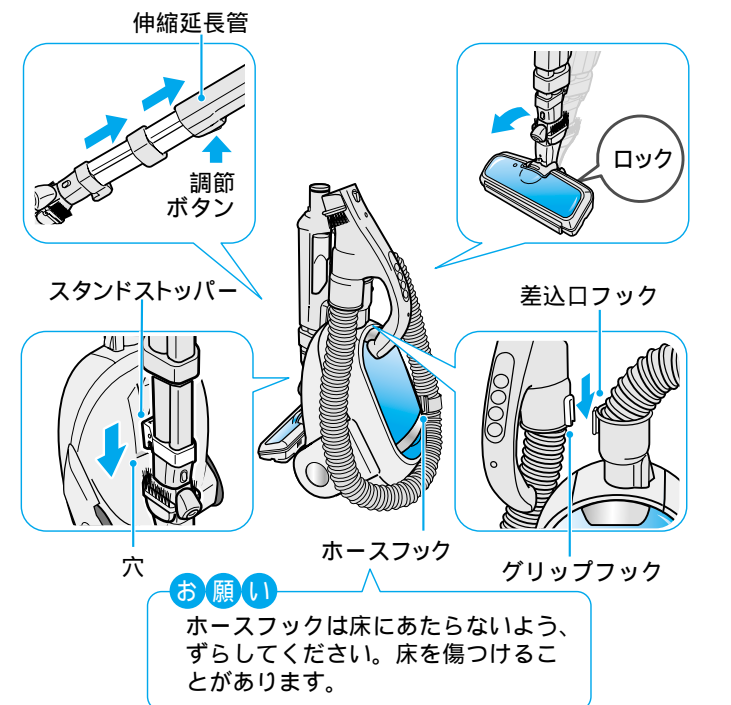
コンパクト収納 押し入れなど、高さの低い場所での収納

伸縮延長管を縮める。

延長管を軽く前に倒して床ブラシをロックする。

スタンドストッパーを本体の穴に差し込む。

グリップを伸縮延長管よりはずして、グリップフックを差込口フックにひっかける。

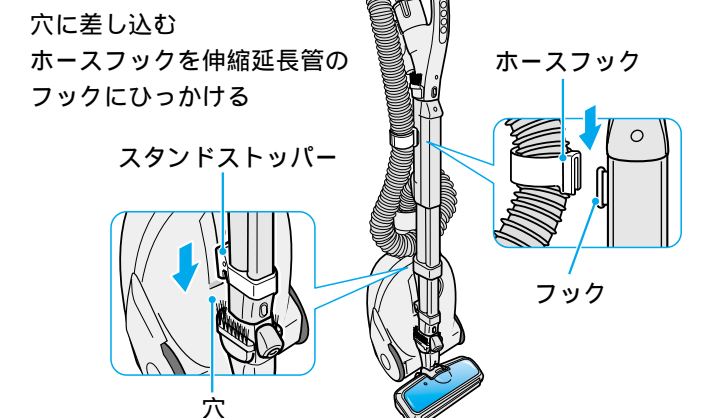


スタンド収納

延長管を軽く前に倒して床ブラシをロックする

スタンドストッパーを本体の穴に差し込む

ホースフックを伸縮延長管のフックにひっかける



お掃除のしかた

1 電源コードをまっすぐ引き出し、電源プラグをコンセントに差し込む
アラーム音（ピロリン ピロリン）がなります。

2 ホースの手元スイッチを押す
約1秒、ブリーツフィルターが回転します。

このボタンは強/弱、自動/マナーのどちらかのボタンが押され、運転しているときのみ使用できます。

ライト/ブラシ 入/切 を押す
床ブラシの回転部の回転を「入/切」するとき
床・たたみで静かに掃除したいときは「切」にしてください。
ゴミが取りにくい場合は「入」にしてください。

「入」：回転部が回転し、ライトが点灯します。
「切」：回転部の回転が止まり、ライトが消えます。

ライト/ブラシ 入/切 を長く押す
ふたを開けるとき
運転停止時に長く押すと、ふたが開いてダストカップが自動で上がります。

手動 **強/弱** を1回押す
「強」でお掃除するとき
じゅうたんなど強い吸込力が必要なときに使用します。

強/弱 を2回押す
「弱」でお掃除するとき
カーテンなど吸い付いて操作がしにくいときのお掃除に使用します。
すき間ノズルを使ったお掃除に使用します。

自動 **強/弱** を2回押す
「自動」でお掃除するとき
ゴミのたまり具合に適した吸込力にコントロールします。

自動/マナー を1回押す
「マナー」でお掃除するとき
静かに掃除したいとき。
移動時など床ブラシを持ち上げたときは、吸込力を弱めます。

切 を押す
運転を止めるとき
エアークリーンを止めるとき
運転を止めると、自動でエアークリーンを行ないます。その際、ブリーツフィルターの回転と同時にブリーツフィルターにエアを送るためにモーターも運転します。

切 を長く押す
エアークリーンをするとき
運転停止時に長く押すと、約10秒間エアークリーンをおこないます。

お知らせ

電源プラグがコンセントに差し込まれていると、「切」のときでも約2Wの電力を消費しています。
大きなゴミなどを急激に吸いつかせた場合、操作を軽くするため吸込力を弱めます。

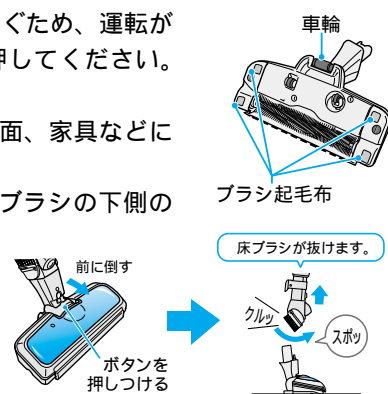
お願い

大きなゴミを吸いつかせたまま約3分間使用すると、モーターの過熱を防ぐため、運転が止まります。このようなときは、ゴミを取りのぞき、手元スイッチを押してください。再びご使用になれます。

狭いところや低いところのお掃除をするときは、スタンドストッパーが床面、家具などにあたらないよう注意してください。

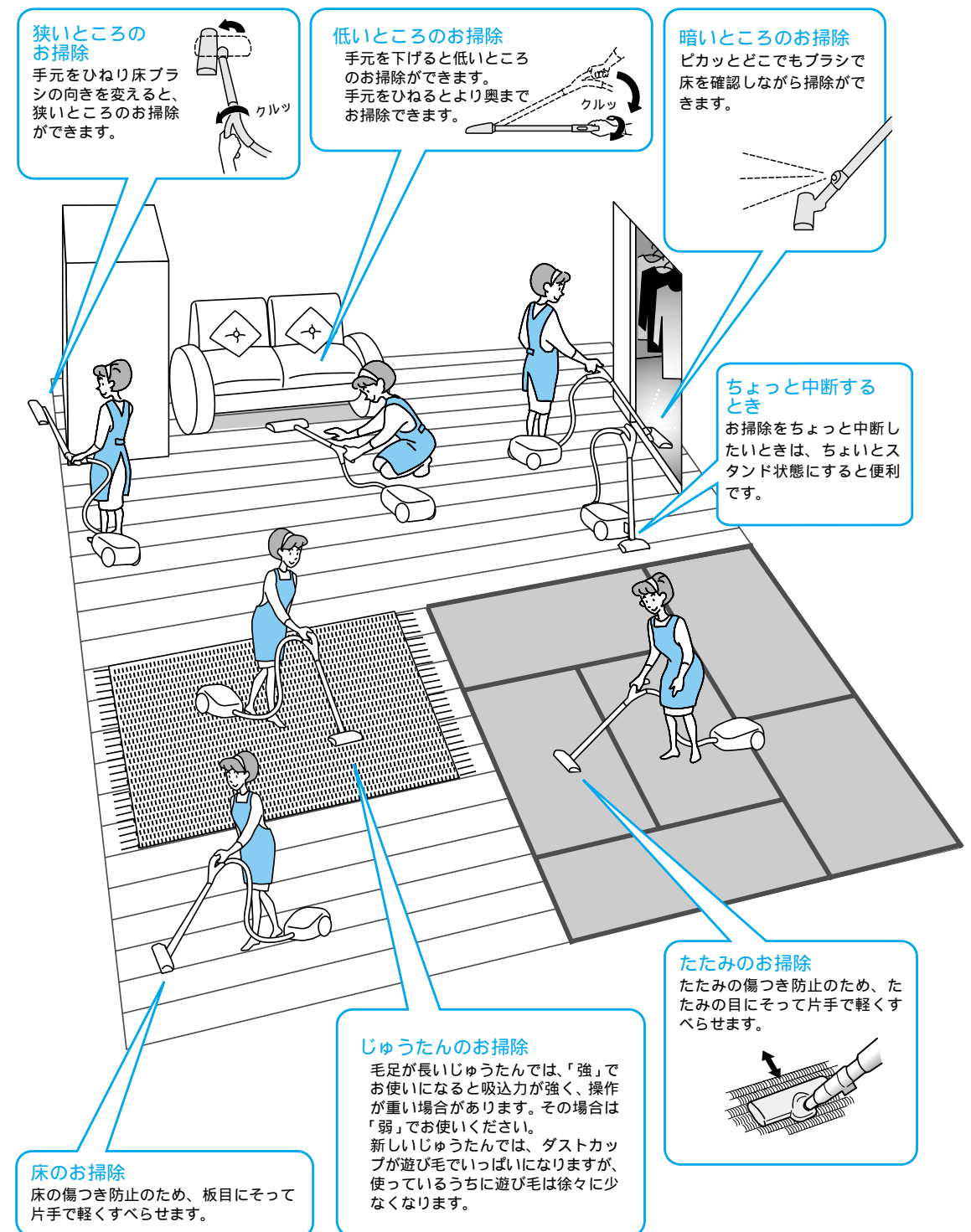
表面が固く、凹凸したコンクリート床などで使用しないでください。床ブラシの下側の車輪・ブラシ起毛布が摩耗していると、床・たたみに傷をつけることがあります。

延長管を前に倒しすぎて下図のようにほぼ垂直状態になると床ブラシがはずれてお掃除できません。ピカッとどこでもブラシをお使いになるとき以外は、延長管を無理に前に倒さずにお掃除してください。



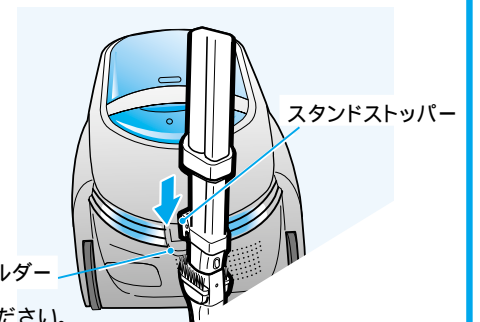
お掃除のコツ

大きめの紙片や包装用フィルムなどは、お掃除の前にあらかじめ拾ってください。
フィルターお手入れロボの分離室や床ブラシの風路につまる場合があります。



ちょっととスタンドの使いかた

本体を押え、スタンドストッパーをちょっとホルダーに合わせ、真上から奥まで確実に差し込む。
ちょっととスタンドを使用するときは、運転を止めてください。
ちょっととスタンド状態では、ふたは開きません。

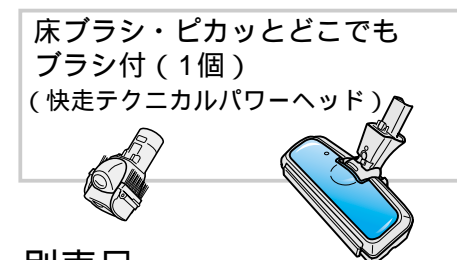


お願い

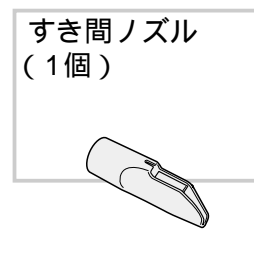
ちょっととスタンド状態で持ち運んだり、無理にふたを開けないでください。
長時間放置する場合は、コンパクト収納やスタンド収納の状態にしてください。

付属品の使いかた

標準付属品



応用付属品



別売品



すき間ノズルは11ページを参照して取り付けてください。
別売品はお近くの東芝商品販売店でお買い求めできます。

ピカッとどこでもブラシの使いかた

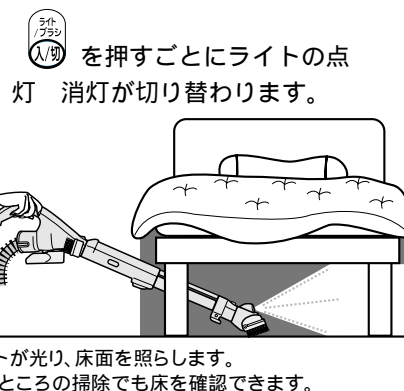
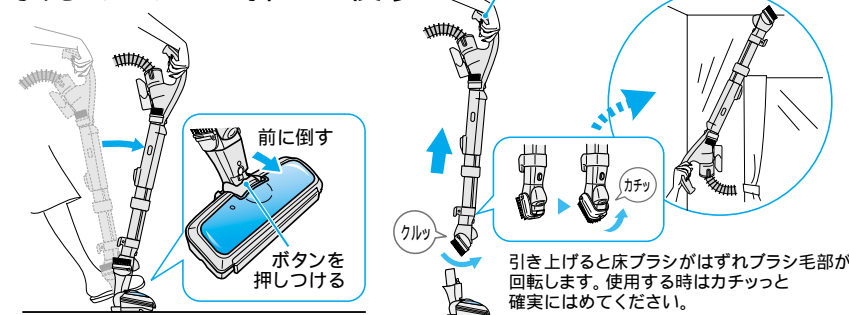
注意 ライトを直接見たり人に向けたりしない
目を痛める原因になります。

① を押しして運転を止め、床ブラシを足で軽く押さえて、グリップを上へ引き上げながら伸縮延長管を前へ倒し、床ブラシをはずす

床ブラシからはずすと、ブラシ毛部がくると前に出てきます。

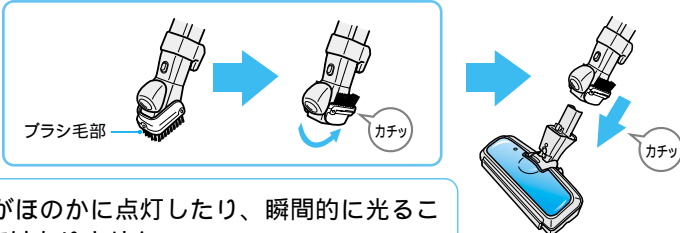
ブラシ毛部をカチッとなるまで確実ににはめる

手元スイッチを押して使う



床ブラシにセットするとき

ブラシ毛部を回転させて
床ブラシにセットする



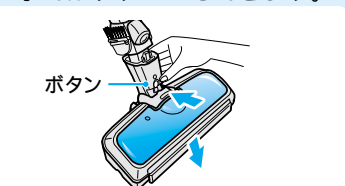
お知らせ

本体停止時に、ライトがほのかに点灯したり、瞬間的に光ることがありますが、異常ではありません。
本体の運転モードを切り替えると、ライトが瞬間的に消えますが、異常ではありません。再び点灯します。

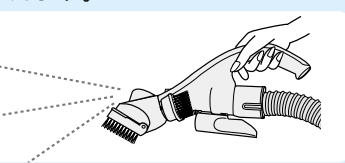
お願い

運転中は、床ブラシの着脱をしないでください。
無理に延長管を前に倒さないでください。故障の原因になります。
ピカッとどこでもブラシ（ブラシ毛部はのぞく）は水洗いしないでください。17ページ
床に強く押しつけないでください。傷をつけることがあります。

床ブラシは、ボタンを押して
手ではずすこともできます。



ピカッとどこでもブラシは、
ホース先端に差し込んででも使えます。



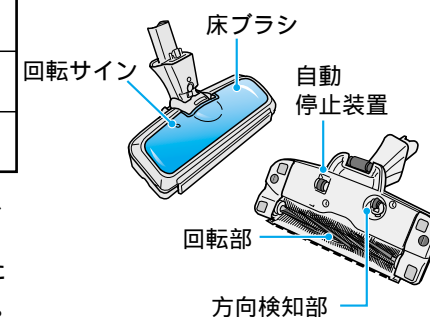
床ブラシについて

警告



床ブラシ・ブラシの回転部、自動停止装置など底面や、本体の排気口付近には触れない
手など、けが・やけどの原因になります。特に小さなお子さまにご注意ください。

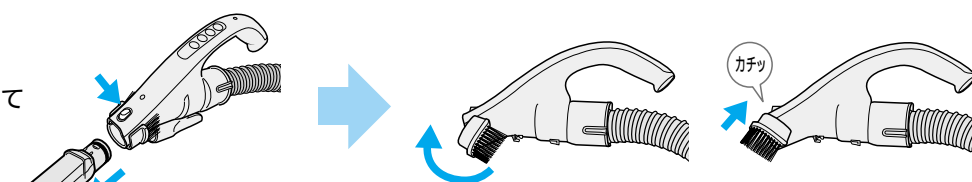
回転サイン	床ブラシの動き	回転部の動き	状態
点灯	床面に置く	回転	正常
消灯	床面から浮かす	回転停止	正常
点滅	床面に置く	回転停止	異常



回転サインが点滅した場合は、回転ブラシにゴミが絡まっている場合がありますので、床ブラシのお手入れをおこなってください。16ページ
ホットカーペットや毛足の長いじゅうたん、毛の密度の高いじゅうたんなどじゅうたんの種類によっては、回転部の回転が止まり、回転サインが点滅することがあります。このようなときは、① を押し、運転を止め再び② を押しお使いください。
床ブラシを振ると「カラン」と音がしますが、自動停止装置のボールとレバーの作動音で故障ではありません。
床ブラシは、床面にゆっくりとおろしてご使用ください。落とすように使用すると、自動停止装置がはたらき、回転部の回転が止まる場合があります。

ワンタッチ手元ブラシの使いかた

伸縮延長管をはずす
（ボタンを押しながらはずす）
ワンタッチ手元ブラシを回転させて
ホースの先端にしっかりとめ
手元スイッチを押して使う



お願い

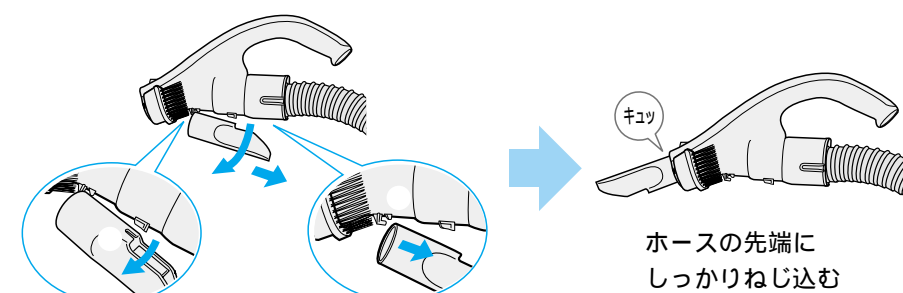
床に強く押しつけないでください。傷をつけることがあります。

すき間ノズルの使いかた

通常は、③ を2回押し、「弱」で使う

強い吸込力でお掃除するときは、③ を1回押し、「強」でお使いください。

ホースにセットするとき

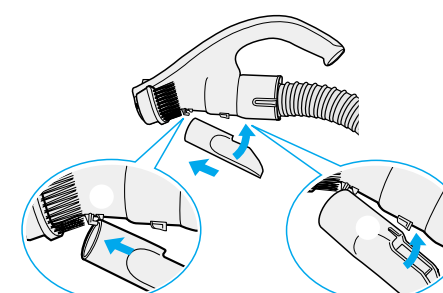


すき間ノズルの中央部分を突起部からはずす
スライドさせてはずす

お知らせ

すき間ノズルは、ホースの手元スイッチ部の下側に収納
できます。
伸縮延長管の先にもセットして使用できます。
すき間ノズルは衝撃により収納状態でもはずれることが
あります。
「強」で使用すると、保護装置がはたらくことがあります。19ページ

ホースに収納するとき



の突起部に引っ掛けたあと
にはめ込む

お願い

床に強く押しつけないでください。傷をつけることがあります。
20分以上続けて使用しないでください。モーターに負担
がかかります。
すき間ノズルをフックから無理にはずさないでください。
フックが変形して収納できなくなります。

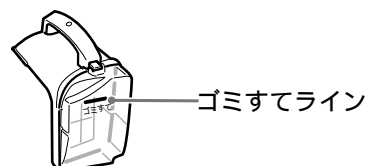
ゴミの捨てかた

お掃除が終わったらこまめにゴミを捨てましょう。ゴミすてラインまでゴミがたまると吸込力が低下します。

水などの液体や湿ったゴミを吸い込んでしまった場合は、ブリーツフィルターのお手入れをしてください。

フィルターの目づまりや異臭の発生、本体の故障の原因になります。

ゴミを捨てる前には^①切を押して運転を止め電源プラグを抜いてください。

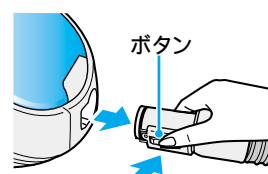


ゴミすてライン

14~15ページ

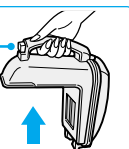
1 ダストカップを取り出す

ボタンを押しながらホースをはずす
ふたクランプを押すと、ふたが開いてダストカップが自動で上がります。
ダストカップハンドルを持って、ダストカップを取り出す

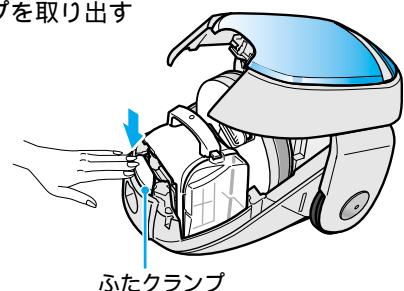


ボタン

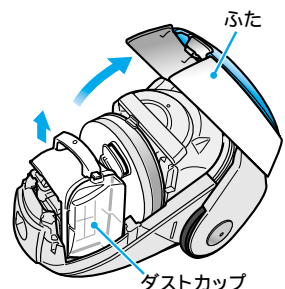
ゴミすてボタンを押さないでください。



ダストカップ
ハンドル
ダストカップ



ふたクランプ

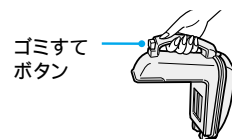


ダストカップ

お願い

本体を立てた状態や、ちょっとスタンド状態でふたクランプを押さないでください。
ふたで床を傷つけたり、延長管が倒れることがあります。

本体からダストカップを取り出すときは、ゴミすてボタンを押さないでください。
ゴミがこぼれます。

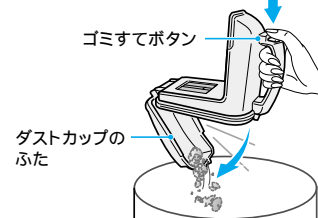


ゴミすて
ボタン

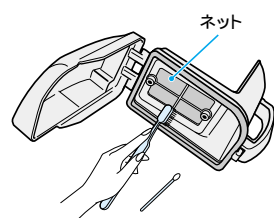
2 ダストカップを大きめの紙袋（ポリ袋）や、ゴミ容器の中に入れる

ゴミすてボタンを押し、中のゴミを捨てる

ネットに付着しているゴミは、使い古しの歯ブラシや綿棒で取りのぞく



ゴミすてボタン
ダストカップの
ふた

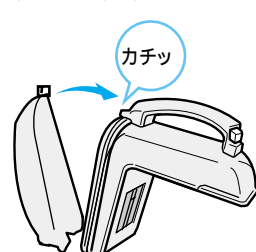


ネット

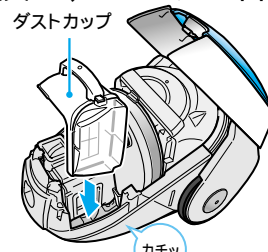
お願い

ダストカップのふたは直接手で開けられません。ゴミを捨てるときは必ずゴミすてボタンを押してください。
ダストカップのふたには無理な力を加えないでください。はずれることがあります。
ゴミの量、種類によりゴミが取りのぞきにくい場合があります。その場合は水洗いしてください。

3 ダストカップのふたを手で戻し、カチッと音がするまではめ込み、本体にセットする



カチッ



ダストカップ

カチッ



カチッ

お願い

ゴミの種類により、ゴミすてラインまでゴミがたまる前に吸込力が弱くなったり、ゴミセンサーが働くことがあります。
このようなときはダストカップやフィルターお手入れ口ポのお手入れをしてください。

13~15ページ

お手入れ

警告



本体・ホース・伸縮延長管・床ブラシ（回転部、お手入れカバー、シャッターをのぞく）
・ピカッとどこでもブラシ（ブラシ毛部をのぞく）は絶対に水洗いしない
感電・故障の原因になります。

水などの液体や湿ったゴミを吸い込んでしまった場合や、通気性の悪いゴミを吸い込んでしまった場合は、フィルターお手入れ口ポ（ブリーツフィルター・分離室）をお手入れしてください。

フィルターの目づまりや異臭の発生、本体の故障の原因になります。

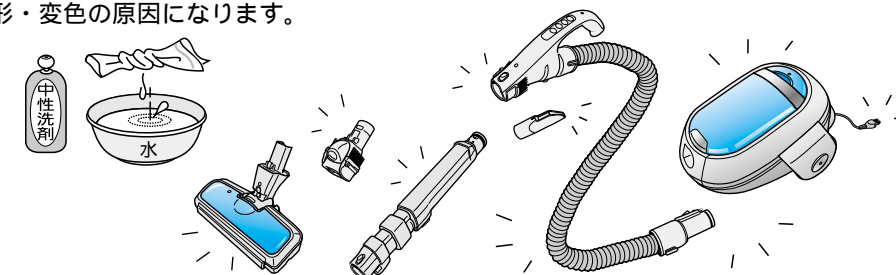
お手入れの際には^①切を押して運転を止め、電源プラグを抜き、ホースをはずしてください。

14~15ページ

本体・付属品のお手入れ

本体や付属品が汚れたときは、水または中性洗剤をふくませた布でふく

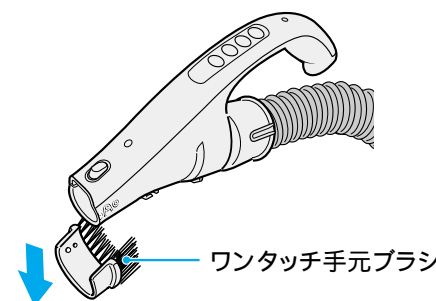
ベンジンなどでふくと、ひび割れ・変形・変色の原因になります。



ワンタッチ手元ブラシのお手入れ

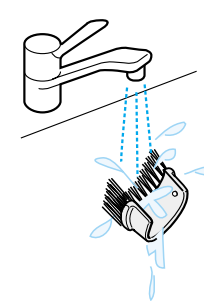
はずして水洗いする

1 ワンタッチ手元ブラシを
下に引き抜く

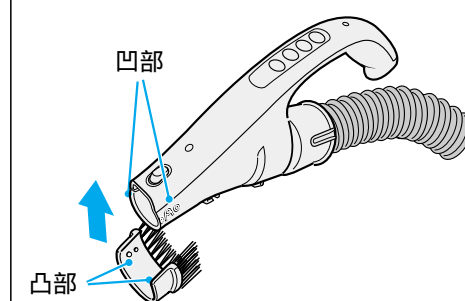


ワンタッチ手元ブラシ

2 水洗いをし、十分に乾燥させる



3 ホース先端の凹部とワンタッチ手
元ブラシの凸部をあわせてはめる

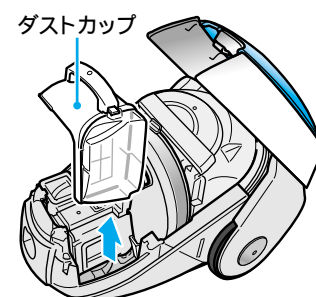


凹部
凸部

ダストカップのお手入れ

本体からダストカップを取り出し、ゴミを捨ててから水洗いする

ゴミすてボタンを押し、ふたを開け、水洗いする

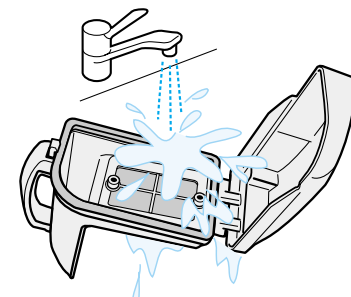


ダストカップ



ゴミすてボタン

ネット



お願い

ネットに付着したゴミが取れにくい場合には、古い歯ブラシ・綿棒などでお手入れしてください。
ネットを毛のかたいブラシで洗ったり、強く押し洗わないでください。破損の原因になります。

お掃除の後に

お手入れ(つづき)

フィルターお手入れロボのお手入れ

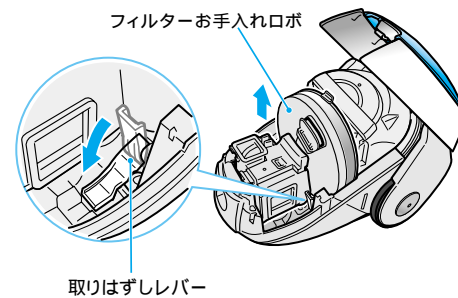
フィルターサインが点滅したら、フィルターお手入れロボをお手入れしてください。

その際、本体からダストカップを取り出し、ゴミを捨ててください。

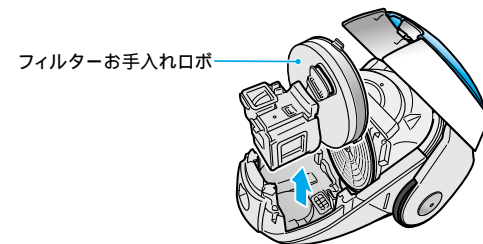
1 フィルターお手入れロボの 取りはずしレバーを下へ押す

取りはずしレバーを、下まで確実に押し込んでください。

フィルターお手入れロボが少し持ち上がります。

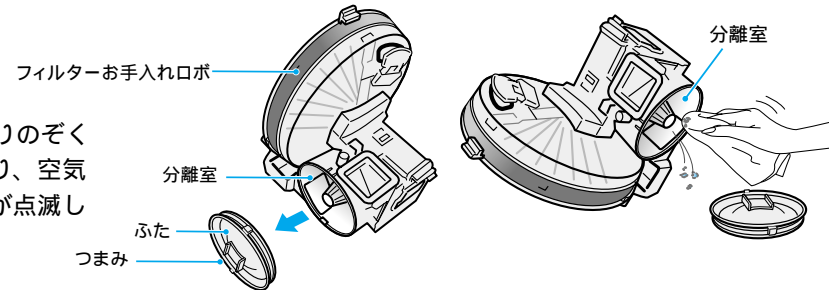


2 フィルターお手入れロボを取り出す



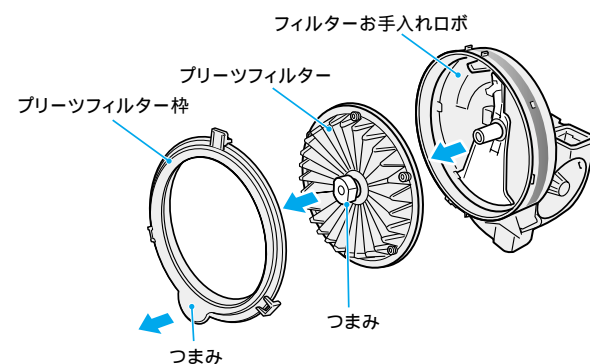
3 分離室のふたをはずし、中にたまったゴミを取りのぞく

つまみを持ち、矢印の方向に引く
ネットについているゴミはティッシュで取りのぞく
分離室内に紙片や包装用フィルムがたまり、空気
の流れが悪くなると、フィルターサインが点滅し
ます。



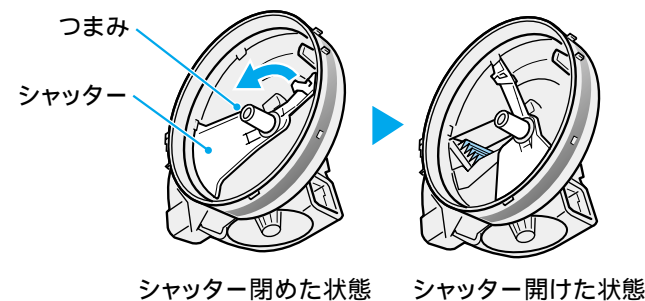
4 プリーツフィルター枠、プリーツ フィルターの順にはずす

つまみを持ち、矢印の方向に引き抜く



5 フィルターお手入れロボ、プリーツフィルター、プリーツフィルター棒をそれぞれ水洗いする

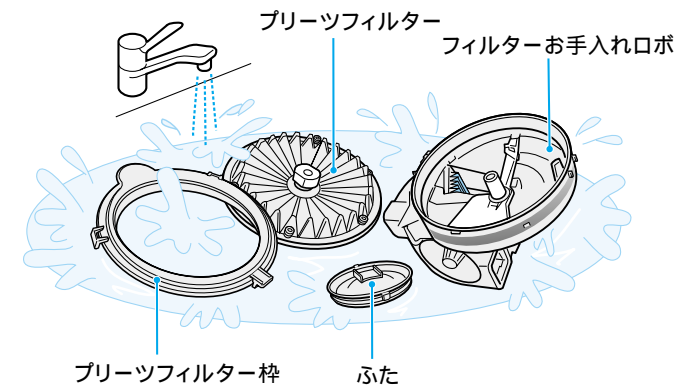
洗う前にフィルターお手入れ口ポのシャッターを矢印の方向にまわして開けてください。容器に水をため、つけ置き洗いとゴミが落ちやすくなります。



 接触禁止

本体内部のギアには触れない

手など、けがの原因になります。特に小さなお子さまにはご注意ください。



お願い

ブリーツフィルターは、歯ブラシや綿棒などで洗わないでください。破損の原因になります。

6 十分に乾燥させて、フィルター
お手入れ口ボを本体にセットする

フィルターお手入れ口ボを乾燥させる際は、シャッターを開け、ブリーツフィルターが入っていた面を下にしてください。

フィルターお手入れ口ボにブリーツフィルターをセットする

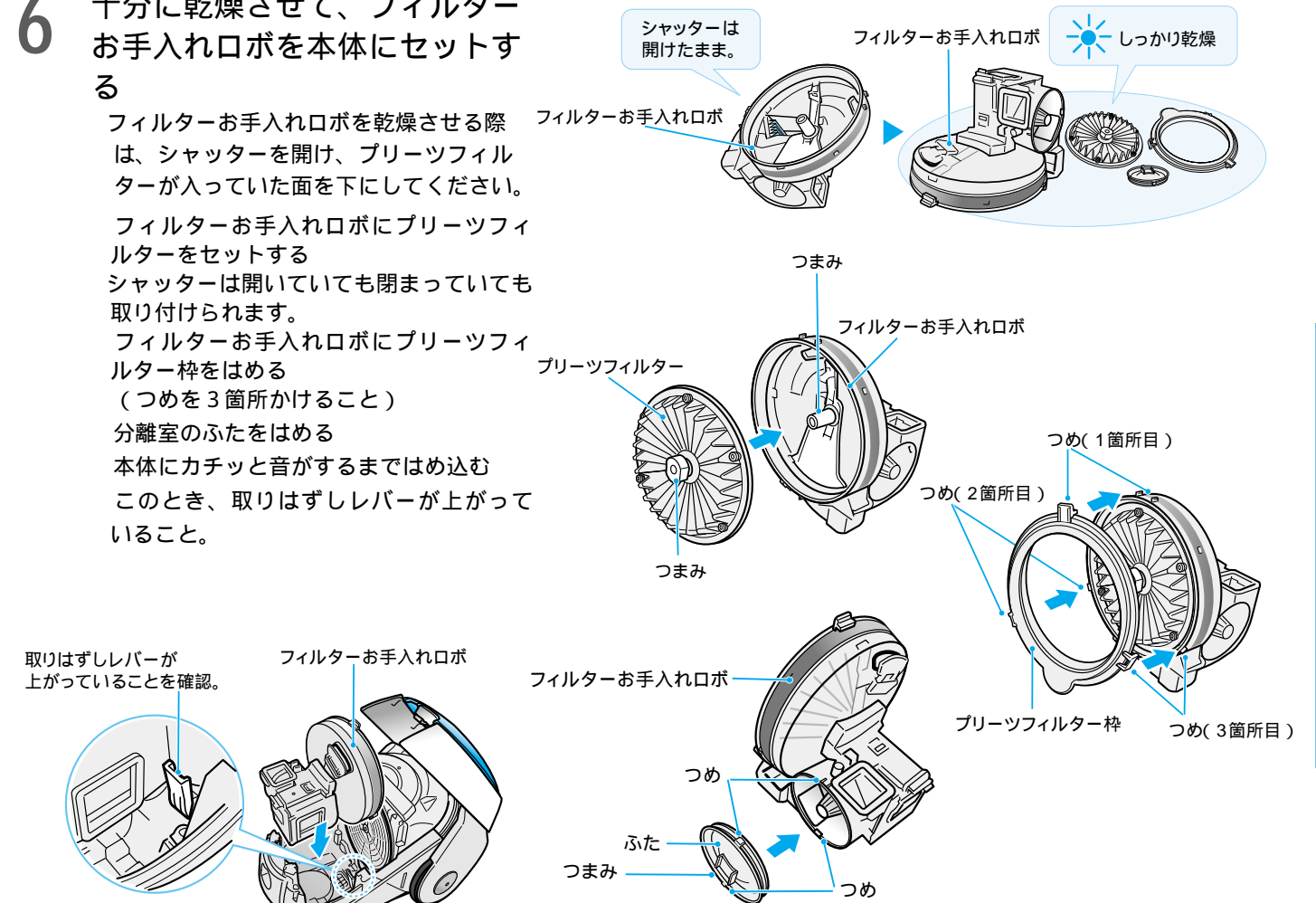
シャッターは開いていても閉まっても取り付けられます。

フィルターお手入れ口ボにブリーツフィルター枠をはめる
(つめを3箇所かけること)

分離室のふたをはめる

本体にカチッと音がするまではめ込む

このとき、取りはずしレバーが上がっていること。



お願い

性能・品質を保証できませんので、洗剤・漂白剤などを使用したり、洗濯機で洗ったり、暖房器具、ドライヤーで乾かさないでください。

水洗い後、ゴミが残ったまま乾燥しますと、異臭が発生することがあります。

お手入れ後は、必ず十分に乾燥させてからセットしてください。ぬれたままご使用になるとフィルターの目づまりや異臭の発生や本体の故障の原因になります。

乾燥時間は、風通しの良い場所で、約1日（24時間）が目安です。

お掃除の後に

お手入れ(つづき)



警告



本体・ホース・伸縮延長管・床ブラシ（回転部、お手入れカバー、シャッターをのぞく）・ピカッとどこでもブラシ（ブラシ毛部をのぞく）は絶対に水洗いしない
感電・故障の原因になります。

床ブラシ

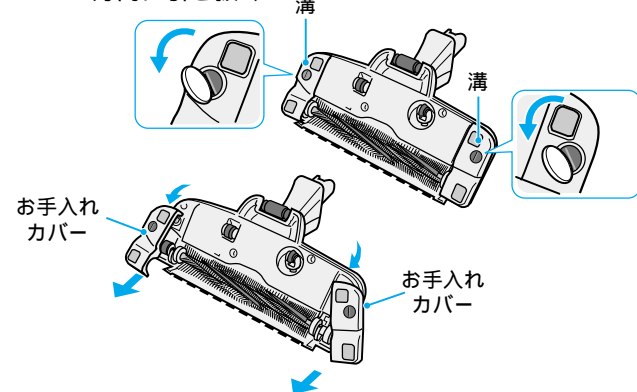
お手入れは、伸縮延長管から取りはずしておこなってください。

床ブラシの回転サインが点滅したときは床ブラシのお手入れを必ずしてください。

週1～2度、お掃除の最後にお手入れしてください。回転部にゴミがからみつくと、回転部が回らなくなります。

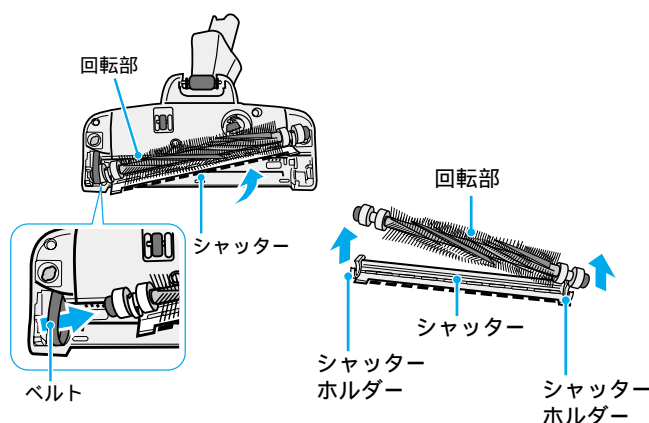
1 床ブラシを裏返し、お手入れカバーをはずす

溝にコインを入れ、「ひらく」の位置に合わせる
お手入れカバーの後ろ側を持ち上げる
お手入れカバーの後ろ側を内側にかたむけながら前方向に引き抜く



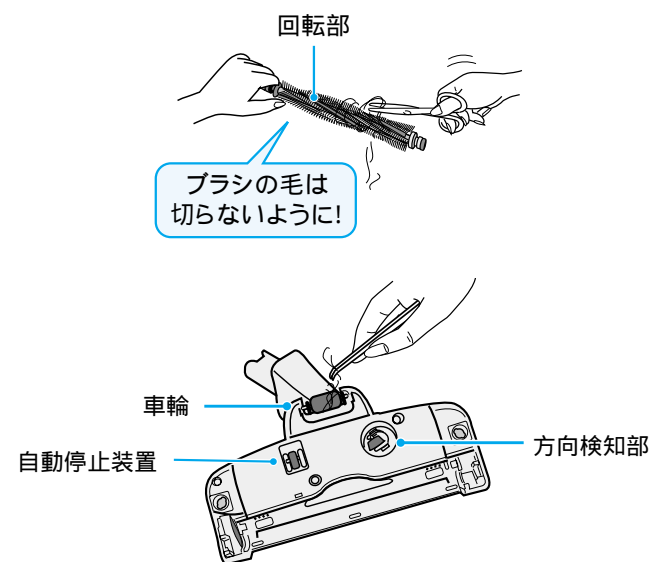
2 回転部をはずす

シャッターを持ち上げる
回転部も一緒についてきます。
ベルトから取りはずす
シャッターホルダーから回転部をはずす



3 ゴミを取りのぞく

回転部に糸くずや毛・ペット毛などがからみついたときは、はさみで切り、取りのぞく
自動停止装置や方向検知部からみついたゴミ、車輪のまわりに入ったゴミは、ピンセットで取りのぞく



ゴミがたまったらそのままお使いになると、車輪が回らず、床、たたみを傷つけることがあります。

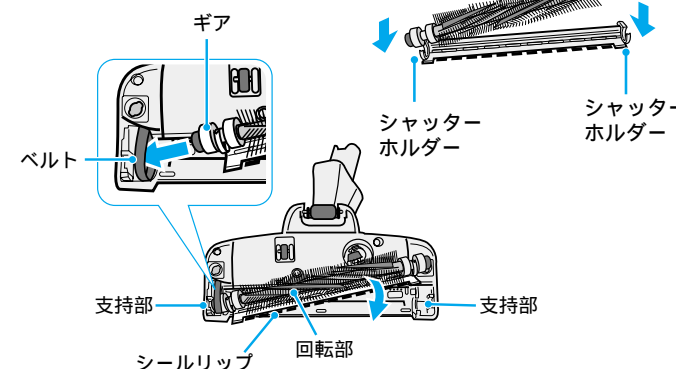
お願い

床ブラシの風路内にゴミがたまっていると、フィルターサインが点滅する場合があります。使い古しの割りばしなどで取りのぞいてください。



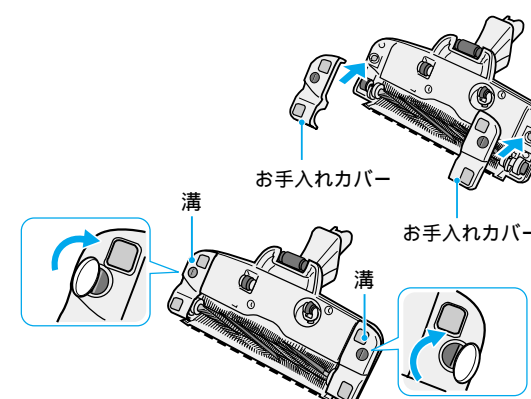
4 回転部を取り付ける

回転部をシャッターホルダーにはめる
ギアにベルトをかける
回転部を支持部にはめる
イラストのようにシールリップが上側にくるようにする



5 お手入れカバーを取り付ける

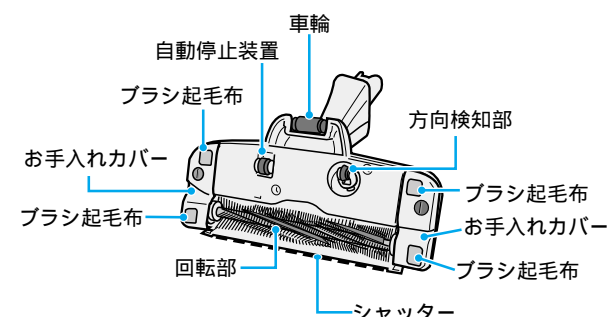
お手入れカバーを床ブラシ底面にのせる
溝にコインを入れ、「しめる」の位置に合わせる



お手入れカバーは、必ず取り付けてご使用ください。
お手入れカバーに無理な力を加えないでください。

お願い

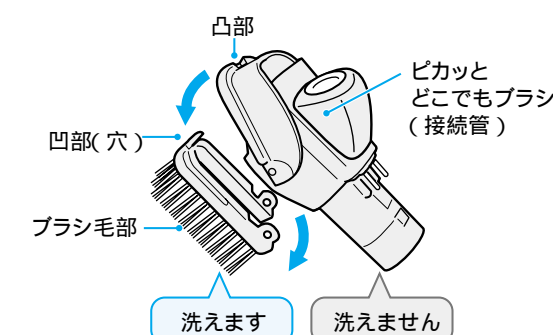
回転部の軸受部には注油しないでください。回転不良の原因になります。
回転部、お手入れカバー、シャッター以外は水洗いしないでください。故障の原因になります。
洗剤、漂白剤などを使用しないでください。
毛のかたいブラシで洗わないでください。
暖房器具、ドライヤーなどで乾かさなでください。
回転部のギアは確実にベルトに取り付けてください。ギアが入っていないと回転部は回りません。
床ブラシ下側の車輪・ブラシ起毛布が摩耗していると床・たたみに傷をつけることがありますので、お手入れの際に点検してください。摩耗しているときは、販売店にご相談ください。



ピカッとどこでもブラシ

ブラシ毛部は、はずして水洗いできます。

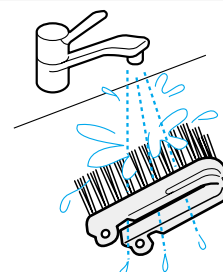
1 ピカッとどこでもブラシ（接続管）を持ち、ブラシ毛部をはずす



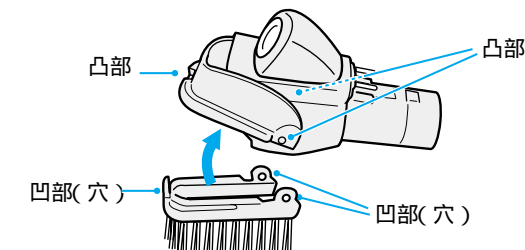
お願い

ブラシ毛部をはずすときは、図のように（ 、 ）の順に
はずしてください。下側からはずすと破損することがあります。

2 水洗いをし、十分に乾燥させる

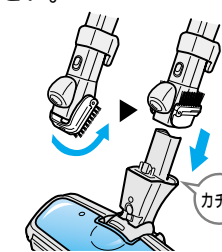


3 接続管の凸部とブラシ毛部の凹部をあわせて、カチッと音がするまではめ込む




お願い


接続管は、水洗いしないでください。
床ブラシにセットするときは、
ブラシ毛部を回してから
セットしてください。



お掃除の後に

このようなときは

**警告**

**改造はしない** また、修理技術者以外の方は、分解したり修理をしない
火災・感電・けがの原因になります。
分解禁止 修理はお買い上げの販売店または東芝家電修理ご相談センターにご相談ください。

修理サービスを依頼する前に
ご使用中に異常が生じたときは、電源プラグを抜き、約15秒後にふたたび差し込んで動作を確認してください。
それでも異常が直らないときは、次の点をお調べください。

このようなときは	調べるところ	直しかた	参照ページ
運転しない	ホースが本体に差し込まれていますか。 ダストカップがゴミでいっぱいになったり、ホース・伸縮延長管にゴミがつまっていませんか。 床ブラシにゴミが吸い付いていませんか。	しっかり差し込んでください。 本体の保護装置がはたらいています。 本体の保護装置がはたらいています。	4～5 19 19
「ピー、ピー…」とアラーム音が鳴る	ダストカップが付いていますか。 ブリーツフィルターが付いていますか。 ギア部にゴミがついていませんか。	正しく取り付けてください。 正しく取り付けてください。 正しく取りのぞいてください。	12 14～15 6～7
運転音が変わる	ゴミがいっぱいたまったままお使いになると、本体保護のため吸込力を弱める機能がはたらく場合があります。	マイコンによる制御で異常ではありません。 こまめにゴミを捨ててください。	8、11 12
吸込力が弱い フィルターサインが点滅している	ダストカップがゴミでいっぱいになっていませんか。 ダストカップ、ブリーツフィルターの汚れがひどくありませんか。 ホース・伸縮延長管・床ブラシにゴミがつまっていませんか。 水などの液体が湿ったゴミを吸い込んでいませんか。 水洗い後、十分に乾燥されていますか。	ゴミを捨ててください。 お手入れしてください。 ホース・伸縮延長管・床ブラシをはずしてゴミを取りのぞいてください。 お手入れしてください。 風通しの良い日かげで十分に乾燥させてください。	12 13～15 4～5 13～15 15
床ブラシの回転部が回転しない	回転部のまわりに糸くずがたくさん巻きついていませんか。 ブラシ本体とお手入れカバーの間にすき間ができていませんか。 大きなゴミか、薄い敷物を巻き込んでいませんか。 自動停止装置にゴミがついていませんか。 回転部のギヤがベルトに入ってますか。	取りのぞいてください。 床ブラシの保護装置がはたらいています。 お手入れカバーを取り付け直してください。 床ブラシの保護装置がはたらいています。 取りのぞいてください。 回転部を取り付け直してください。	16～17,19 16～17 19 16～17 16～17
電源コードが巻き取れない 引き出せない	電源コードが片よって巻き取られていませんか。 電源コードがからんでいませんか。	1～2m引き出してふたたび巻き取ってください。 電源コード巻取りボタンを押しながら「巻き取る」引き出す」操作を2～3回くり返してください。	7 7
ホースが縮む	床ブラシに大きなゴミが吸いついていませんか。 ホース、伸縮延長管、床ブラシにゴミがつまっていませんか。	ゴミを取りのぞいてください。 ホース、伸縮延長管、床ブラシをはずしてゴミを取りのぞいてください。	16～17 4～5

それでも異常のある場合は、20ページの保証とアフターサービスをご参照ください。
ご使用中、本体及び電源コード、排気風が熱く感じられてきますが異常ではありません。モーターの熱のためです。
ゴミがたまってくると、吸込力を保つためにモーターの回転数が高くなり、音が少し大きくなります。また、本体温度も熱くなりますが異常ではありません。
ダストカップのゴミを捨て、フィルターお手入れ口ボをお手入れしてください。[13](#) [15](#) ページ
ご自分での修理は、危険な場合がありますから絶対にしないでください。
電源プラグをコンセントに差し込むとき、火花が散る場合がありますが、故障ではありません。

保護装置について

モーターの過熱を防ぐため、本体内部に運転を止める保護装置がついています。
次のようなとき、保護装置がはたらきますのでお手入れをしてください。

本体の保護装置がはたらくとき

このようなとき

ダストカップがゴミでいっぱいのまま運転し続けたとき
砂ゴミ、誤って吸い込んだ湿ったゴミや通気性の悪いゴミなど、吸込むゴミの種類によっては、ダストカップがいっぱいになる前に、保護装置がはたらくことがあります。
ホースや伸縮延長管や床ブラシなどにゴミがつまったまま運転し続けたとき
すき間ノズルで連続運転使用したとき
夏期など室温が35℃を超えるとき
吸込口や排気口をふさいで連続運転し続けたとき
フィルターサインが点滅したまま使用したとき

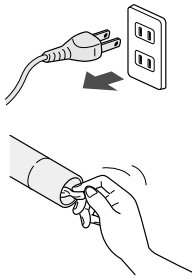
直しかた

手元スイッチの**切**を押し、電源プラグをコンセントから抜く

ゴミを捨てるか、またはホース、伸縮延長管、床ブラシなどにつまったゴミや排気口などをふさいでいる物を取りのぞく

涼しい場所におく

約1時間後、保護装置が解除され、再び使用できます。



床ブラシの保護装置がはたらくとき

このようなとき

回転部(ブラシ)を回転させたまま同じ場所に放置したり、床に強く押しつけたとき
回転部(ブラシ)に異物を巻き込んだとき
ホットカーペットや毛足の長いじゅうたんで使用したとき

直しかた

手元スイッチの**切**を押し、床ブラシを伸縮延長管からはずし、床ブラシに巻き込んだ異物を取りのぞきます。[16](#) [17](#) ページ

保護装置が解除され、再び使用できます。

抗菌の効果

部品名	抗菌の確認を行った試験機関	試験方法	抗菌の方法	抗菌の処理を行っている部品の名称
床ブラシ	(財)日本化学繊維検査協会	統一試験法	繊維に付着	ブラシ毛
ダストカップ	(財)日本食品分析センター	JIS Z 2801	樹脂に練り込み	プラスチック
アレルゲットフィルター	(財)日本紡績検査協会	JIS Z 2801	繊維に付着	不織布
ゼオライトフィルター	(財)日本食品分析センター	JIS L 1902	繊維上で化学結合(アルミノケイ酸+銅)	不織布
ブリーツフィルター	(財)日本紡績検査協会	JIS L 1902	繊維に付着	不織布

仕様

電源	消費電力	外形寸法			質量	吸込仕事率	運転音	集じん容積	電源コードの長さ
		長さ	幅	高さ					
100V 50-60Hz 共用	1000W～ 約160W	375 mm	270 mm	265 mm	6.9kg ホース・伸縮延長管・床ブラシ含む	500W～約50W	57dB～ 約45dB	0.4L	5m

手元スイッチ「強」にて消費電力1000W、吸込仕事率500W、運転音57dB
この商品は、日本国内用に設計・販売しています。電源電圧や周波数の異なる国では、使用できません。
海外での修理や部品販売などのアフターサービスも対象外となります。